



## 「紺屋型紙」 図柄の付箋を販売

河内長野市高向のくろまる館（河内長野市立ふるさと歴史学習館）では、好評を得ている「紺屋型紙」の図柄をプリントしたグッズに、付箋を新たに加え、販売を開始した。付箋には「青海波」「麻の葉」「檜扇と踊り桐」の3種類の文様があしらわれている。



紺屋型紙 付箋 1冊（30枚綴り）横130mm×縦80mm 200円（税込）

- ・「青海波」日本で古くから用いられてきた吉祥文様
- ・「麻の葉」麻の丈夫で成長の早いところから、子どもの健康な成長を願い産着などに多く用いられてきた文様
- ・「檜扇と踊り桐」皇室の紋とされてきた桐と平安貴族が使った末広がりやで雅やかな檜扇を配した縁起の良い文様

下記の市内書店や公共施設などで販売するほか、市役所ふるさと文化財課で通信販売も行う。

### 【販売場所】

◎くろまる館（河内長野市立ふるさと歴史学習館）、滝畑ふるさと文化財の森センター、市役所情報センター、市内書店（塔本博文堂、松田書店）、南天苑、カフェドくすくすなど

※「紺屋型紙」とは、江戸時代から地域にあった染物屋（紺屋）で、主に「河内木綿」などの型染めに用いられた型紙のことで、繊細で美しいデザインが特徴。

※くろまる館では平成23年8月から同館が所蔵する「紺屋型紙」の図柄をプリントしたクリアファイルなどを販売し、市内だけでなく他府県からも問合せがあるなど好評を得ている。同館は、紺屋型紙は約1600点を所蔵。